

第 2 回

(仮称) 小牧市第 3 老人福祉センター建設検討委員会

議 事 録 要 旨

- ・開催日時：平成 30 年 11 月 20 日（火）10：00～
- ・開催場所：市役所 4 階 404 会議室

所 属	役 職	氏 名	出 欠
小牧市区長会連合会に属する者	連合会長	小柳 松夫	○
小牧市地区民生委員・児童委員連絡協議会 に属する者	味噌地区副会長	今村 究	○
小牧市老人クラブ連合会に属する者	小牧西部地区会長	児玉 豊	○
市民団体に属する者	小牧市女性の会会長	酒井 美代子	○
社会福祉法人小牧市社会福祉協議会に 属する者	局長	松岡 和宏	○
市内の地域包括支援センターに属する者	味噌地域包括支援センター 管理者	小林 永尚	○
小牧市老人福祉センターの指定管理者	「野口の郷」所長	稲垣 周二	○
学識経験者	名古屋経済大学 副学長	中村 昭典	○
市内に在住する者で、老人福祉センターに 関心のあるもの		桑山 美知代	○
市内に在住する者で、老人福祉センターに 関心のあるもの		中村 豊子	○

《事務局》健康福祉部（廣畑部長、伊藤次長）、
長寿・障がい福祉課（山本課長、白木係長、鈴木主査、徳田主事）
株式会社オオバ（丸山、木村、竹内）

《傍聴者》なし

《配布資料》

- ・次第
- ・資料-1：スケジュール（A4／1枚）
- ・資料-2：第1回建設検討委員会議事要旨（A4／5枚）
- ・資料-3：基本コンセプト・施設機能の検討資料（A3／4枚）

1 あいさつ

○事務局：白木

- ・本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。これより、第2回（仮称）小牧市第3老人福祉センター建設検討委員会（以下、「本委員会」という。）を開会いたします。会の開催に先立ちまして、小柳委員長よりご挨拶をいただきたいと思ひます。



○小柳委員長

- ・皆様、おはようございます。お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。（仮称）第3老人福祉センターの建設検討委員会ということで、既に供用開始している施設や今日的な課題を踏まえて、議論していければと思ひます。
- ・本日の委員会についても前回同様、皆さんにご協力いただきながら議事を進めさせていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

○事務局：白木

- ・小柳委員長、ありがとうございました。
- ・本日の出席委員は、10名であります。
- ・次に、お手元の資料を確認させていただきます。

（配布資料 確認）

- ・また、資料番号はありませんが、中村昭典委員よりご提供いただきました、「小牧市第3老人福祉センター（仮称）検討に際して（A4両面刷り）」を追加でお配りしておりますので、ご確認ください。
- ・本委員会は、小牧市審議会等の会議の公開に関する指針第3条の規定に基づき、個人に関する情報や法人、その他の団体に関する情報を除き公開とさせていただきます。なお、本委員会議事録につきましては、情報公開コーナー及び本市ホームページにて公開させていただきます。
- ・本日の傍聴者は0人です。
- ・それでは、小柳委員長に議事の進行をお願いしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

○小柳委員長

- ・前回の委員会では、それぞれの委員から貴重なご意見をいただきました。特に中村昭典委員には、学識経験者という立場からお話をいただき、私自身も世代間の交流が大切であると感じました。
- ・本日は、中村昭典委員より前回のお話を踏まえたご提案をいただいておりますので、議事に入る前に資料についてご説明いただければと思ひます。

○中村昭典委員

- ・それでは、ご説明させていただきます。よろしくお願ひいたします。
- ・前回の委員会では、私どもが本委員会に委嘱いただいた背景について、お話をさせていただきました。その後、本委員会について大学の関係各位にお話をさせていただいた上で、私どもからご提案させていただいた「他の世代との交流」について、どのようにすれば新しい第3老人福祉センターの中に盛り込むことができるかという視点でそれぞれの立場から検討していただきましたので、その結果を本日、お話しさせていただければと思ひます。
- ・前回の委員会から20日程度の時間の中で検討したものですから、完成度の高いご提案には残念ながら至ってはいませんが、具体的な検討が進んだ段階でお話しさせていただくよりも、計画段階である現段階でお話しさせていただいた方がよいと思ひましたのでご提案させていただきました。
- ・小牧市の実情や老人福祉のあり方等について、深く理解できていない部分も多々あるかとは思ひますが、アイデアをまとめさせていただきましたので、お話しさせていただければと思ひま

す。

○中村昭典委員

- ・今回の第3老人福祉センターについては、既存施設での経験を有効活用し、さらに今のニーズにフィットした施設を目指していくことを大前提としていますが、老人福祉という視点に加えて、駅前という立地性を最大限に活用し、他の世代と交流することで老人世代の活性化に寄与することができるのではないかとという視点で何点かアイデアをご提案させていただきました。
- ・当大学には、保育士や幼稚園教諭を養成する教育保育学科、管理栄養士を養成する管理栄養学科、地域の課題に対してご提案を申し上げる地域連携センター、そして、幼児保育を実践している名古屋経済大学市邨幼稚園という4つの機能があります。今回は、これらの部署に所属する教職員、学生からのアイデアをまとめさせていただきました。
- ・ただし、ご提案させていただく内容については、当大学が実施まで受け持てるものから、他の機関に実施を委ねるものまで混在しておりますのでご承知おきください。
- ・まず、子育て支援という視点でのアイデアを提案します。小牧市の施策を拝見していますと、子育て支援について非常に大きなテーマとして取り上げられていることから、第3老人福祉センターにおいても他の世代との交流という視点からみると、共有できるものがあると考えました。
- ・具体的には、老人福祉センター内にキッズスペースとして未就園児を預かる場を設けるというものになります。小牧市内においてもワーキングマザーの方々がたくさんいらっしゃると思いますが、そのような方々が駅を利用して通勤しているならば、隣接するこのセンター内にお子さんを預けることができるスペースを設け、仕事終わりに引き取って帰られるという、機能を持たせることができれば、子育て支援には非常に有効であると思いました。
- ・また、子育て支援だけであれば、子育て支援の機能だけに特化して実施すればよいのですが、今回のような老人福祉に寄与する施設においては、小さなお子さんと接することは老人の方々にとって非常にメリットがあると考えます。例えば、老人世代の多くの方はお孫さんをお持ちの方であると思いますので、その方々にとってお孫さんと接する時間というのは非常に貴重で、かついきいきできる時間の一つだと思います。また、既に子育てを経験されている方も非常に多くいらっしゃると思いますので、その子育てのノウハウは非常に有効で期待できるものだと思います。そのため、未就園児を預かる時間においては、老人の方々にも参加していただくことで、子育て支援という面でも力を発揮していただけるのではないかと考えたので、そのようなスペースを設けることを提案させていただきます。
- ・施設の中にキッズスペースを設け、子育てを支援して欲しい世代や小さなお子さんを抱える世代が、ここに寄り集まれるスペースを設けることで、情報交換をしていただいたり、あるいは一定の玩具や教育資材などを用意することで、集いやすくしてはどうかと考えました。そして、その場所に老人世代の方々にも入っていただくことで、子育て世代に対してアドバイスなどができれば非常に効果的ではないかと思いました。
- ・これらについては、基本的には今の子育て世代と子育て経験者である老人世代を上手く組み合わせることで、お互いにとって良い効果が出るのではないかと思います、提案いたしました。
- ・続いて、老人福祉センターにおいて多世代との交流を考えると、今の施設名では老人の方々のための施設として捉えられ、他の世代の方々からすると私たちが利用できる施設ではないというように捉えられます。そのため、老人に限定しないようなネーミングも少し検討できればと考えました。
- ・次に、当大学の管理栄養学科の視点での提案をします。少し細かな話になりますが、管理栄養士を養成する過程で、臨地実習というものがあります。これは実際に現地に赴いて、実習を通して栄養指導に必要な勉強をするという機能ですが、その臨地実習に利用できるような施設にさせていただくと、当大学の学生が赴いて調理実習などにより、色々な食事を提供することで高齢者の食育に貢献できるのではないかと考えました。この提案は少しハードルが高いかとは思いますが、このような機能があれば、より多くの学生を積極的に派遣しやすいと思いました。
- ・また、施設内に調理実習機能を組み込んでいただければ、当大学の学生や教員がそこに出向かせていただいて、老人世代が持つ豊富な調理経験を活かしながら、多世代の交流をはかるようなスペースとして使えるのではないかと考えました。実際に管理栄養学科では、小牧市の「ゆうゆう学級」などにも参加させていただいておりますので、こういった協力の延長線上に、今回の施設での取組みも位置付けることができれば、より多くの学生が老人世代に向けての食育

議事概要

という点で貢献できるのではないかと考えました。

- 次に、地域の住民の方が、ここに集うような機能を設けられたら良いと思いましたので、例えばJAなどの協力を得て、施設内の一部や駐車場などを利用して朝市を開催することができれば、地域の方との交流にもつながるのではないかと考えました。また、老人世代の方々に朝市の商品を使って料理をしたり、販売ボランティアなどのような形で参加していただくこともできるかと思います。あるいは、実際の運営については、シルバー人材センターなどに協力していただきながら、朝市を開催することも可能かと思えます。
- 続いて、老人世代の学びの機能の提案をします。老人に対する生涯学習の講座などをこの施設の中に組み込むことができれば、より積極的にこの施設を利用していただけるとは思いませんか。施設近隣には、当大学も含め数多くの教育機関があります。こういった教育機関と上手く連携することによって、この場所で老人世代の学びのプログラムを提供する、あるいは、先日の委員会でもお話が出ましたが、当大学の図書館の方にスクールバスを利用していただき、老人世代の方に開放させていただくことで、大学が持っている学びの資産を活用していただくことも可能かと思えます。
- また、スクールバスを利用して、当大学へお越しいただいて、学生向けの講座をいくつか開放させていただくことも可能ではないかと思えます。若い世代と一緒にあって実際に講義を受けていただき、最後には修了証などを提供することなども、今後の検討次第では出来るのではないかと思います、少し補足させていただきます。
- 次に、田県神社前駅のロータリーを活用し、他市町が運営しているコミュニティバスなどの発着場とすることで、老人世代の活動の場が広がるのではないかと考えました。
- 他にも、食に関する講座を実施してみたり、小売りスペースやコンビニ、カフェなどが出来たら、老人世代だけでなく、他の世代も利用できるのではないかと思います。要は、他の世代からみて使い勝手の良い機能が含まれてくると、老人世代との交流がもっと出来るのではないかと思います、提案しました。
- 時間が無い中での提案となり、分かりにくい部分も多々あったかと思いますが、本日の委員会中で、今お話をさせていただいた内容を頭の片隅に置いていただきながら、議論していければと思います。ありがとうございました。

○小柳委員長

- ありがとうございました。ご提案いただいた内容については、前回の委員会でお話いただいた内容に肉付けしていただいたことだと思いますので、これについては、今後、事務局にて計画づくりの中で反映していただければと思います。
- それでは、次第に沿って進めさせていただきます。まず、議題（1）基本コンセプトの検討についてです。事務局より説明をお願いいたします。

2 議事

【基本方針の検討】（1）基本コンセプトの検討について

○事務局：山本

- それでは、資料3の基本コンセプトの検討（1～2ページ）について、ご説明をさせていただきます。よろしく願いいたします。
- まず1ページ目ですが、上位関連計画が、（仮称）小牧市第3老人福祉センターが本市の各種計画の中で、どのように位置づけられているか整理したものになります。市の最上位計画である第6次小牧市総合計画新基本計画においては、「心身の健康の維持」「生きがいを持てる」「住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる仕組みづくり」「高齢者の技術や経験を社会で発揮」「人とのつながりやふれあい」というキーワードが挙げられております。
- また、高齢者福祉の方向性を定めた、第7次小牧市高齢者保健福祉計画では、「健康に関して学ぶ場」「気軽に相談できる場」「楽しみながら主体的に健康づくりや介護予防に取り組める仕組みづくり」「地域住民との交流」「軽スポーツ、娯楽、健康増進」「教養、生きがいづくり講座」などのキーワードが挙げられております。

○事務局：山本

- このように、高齢者にとって、心身ともに健康で、趣味や娯楽を通して生きがいを持ち、地域の中で安心して暮らし続けることができる環境を整備することが重要となります。

議事概要

- 続いて施設利用者アンケートについてです。これは前回お示しさせていただいている資料の再掲になりますが、既存の第1、第2老人福祉センターを実際に利用していただいている方にご協力いただきましたアンケート結果になります。この結果の中では、ヘルストロンやマッサージ、入浴、卓球などのリラクゼーションやスポーツ機能、芸能ショーやカラオケなどの教養文化機能、仲間との交流や喫茶利用といったコミュニティ機能において、利用者からのニーズが高い傾向にあります。
- 建設検討委員会からの意見においては、前回の委員会において、皆様からいただいた意見をまとめたものになります。主な意見としましては、たくさんの方が利用する駅前という立地性を活かし、新しい視点を取り入れて、老人福祉に寄与することができる施設にすることが大切である、大学生が講師やボランティアとして参加するなど、若い人達が飛び込んでくるような雰囲気づくりが大切である、といった意見が出されました。
- このように、上位関連計画、施設利用者アンケート、建設検討委員会からのご意見を踏まえ、(仮称)小牧市第3老人福祉センターの基本コンセプト(案)を設定しました。資料2ページをご覧ください。
- (仮称)小牧市第3老人福祉センターの基本コンセプト(案)として、「地域の“元気”をつなぐ サードプレイス」と設定させていただきました。
- サードプレイスという言葉が聞き慣れない言葉かと思しますので、簡単にご説明いたします。まず、ファーストプレイスというのが自宅や家のようなイメージになり、セカンドプレイスが職場や学校といった一つの目的に向かって集まる場所になります。そして、サードプレイスは自分にとって居心地の良い時間を過ごせる、趣味を楽しんだり、仲間と気軽に交流できる集いの場というような意味を持ちます。
- 第3老人福祉センターは、地域に住む高齢者一人ひとりがいきいきとした生活を送り続けるため、主体的に健康づくりや生きがいをづくりを行う空間としての役割を担います。また、日常の一部として、安心して利用できる居心地の良い空間となることが期待されます。この居心地の良い空間というのが、サードプレイスになります。
- また、市内の既存の老人福祉センターにはない「駅前」という立地性を活かして、多世代の方々が交流し、にぎわう空間の創出を図ることで、地域を元気にします。このような思いを込め、基本コンセプト(案)を設定いたしました。
- 次に、この基本コンセプトの実現を目指すための基本方針(案)について、ご説明いたします。
- まず基本方針1として、「高齢者の健康づくり・生きがいをづくりに資する機能の充実」を図ります。地域の老人福祉の拠点として、健康相談や機能回復訓練、教養講座などの各種機能を充実させることにより、高齢者が主体的に楽しみながら健康づくり・生きがいをづくりに取り組むことを支えます。また、野口の郷や小針の郷における利用者ニーズ等の情報を共有することによって、地域の特性に合わせた適切なサービスの提供を図ります。
- 次に、基本方針2として、「居心地が良く、快適に利用できる空間」を構成します。部屋の配置や施設内の動線を分かりやすいものとし、高齢者にとって居心地が良く、快適に利用できるような空間構成とし、多目的利用ができる部屋や敷地内にオープンスペースを配置することによって、各種講座や定期イベントなどの日常的な利用だけではなく、多様なニーズへの対応を図ります。
- 最後に、基本方針3として、「立地性を活かした、交流・にぎわい機能の充実」を図ります。前回の委員会において、委員の皆様から出された意見を集約したものが、この基本方針3になります。駅前という立地性を活かして、高齢者や地域住民、駅利用者など多世代の人々が出会い、交流し、にぎわう空間づくりに努め、近隣大学や駅周辺に立地する施設に関する機関と連携し、出前講座などの新たなプログラムを実施するなどして、多世代ならびに地域とつながる機会の創出を図ります。
- 基本コンセプトに関する説明は以上になります。

○小柳委員長

- ありがとうございます。事務局より、基本コンセプトに関するご説明をいただきましたが、これについてご意見やご質問があれば、お願いします。

議事概要

○中村昭典委員

- ・今回ご提案させていただいた内容とコンセプトがつながっていますので、非常に理解できると思いましたが、ただ、サードプレイスという表現が一般の市民の方々からどのように見えるかという点が気になりました。

○小柳委員長

- ・基本コンセプトとしては、老人福祉センターの役割は果たしつつ、駅前という立地性を活かして多くの世代が利用できるようにしたいということだと思います。

○稲垣委員

- ・「多世代」というキーワードが出ていますが、今の既存施設の中では、例えば篠岡保育園の方々に実際に来ていただいて、高齢者の方々と触れ合うというイベントを実施しています。高齢者の方々の前で何かを発表するということで子ども達も一生懸命練習してくれて、とても喜ばれていますし、利用者の方々も子ども達と触れ合う機会ができて非常にいきいきしていると感じています。多世代の交流は、相互にとって非常に意味のあることだと思っています。

○酒井委員

- ・稲垣委員のご発言のように、若い世代の方々を呼んで何かやっていただけたらと思います。今の施設でも市内の各グループなどに参加していただき、芸能ショーなどが開催されていますが、それよりも若い世代と触れ合う場があると良いかなと思いました。特別に何かスペースを設けるのではなく、今の設備の中で取り入れて頂けたらと思います。

○児玉委員

- ・先程、芸能ショーのお話が出ていましたが、実際に使われている集会室は畳が敷いてあると思います。老人クラブの中には、足が悪く座れない方がいらっしゃいますので、出来たら椅子などを設置していただくと良いと思いました。
- ・また、多世代との交流という話はありませんでしたが、現在は、小牧市在住の高齢者であることを証明してからでないと利用できないかと思います。そのため、施設を交流の場とするとたくさんの方がいらっしゃって、色々とも問題も起きるのではないかと思います。
- ・最後に、施設の周辺にウォーキングできるような散歩道があると良いなと思いました。

○小柳委員長

- ・中村昭典委員からいただいたご提案を全て実現するのはなかなか難しいことかと思いますが、取り込めるものは取り込んで欲しいと思います。また、先程稲垣委員からも篠岡保育園との交流の話がありましたが、こういうことが少しずつ増えていけば、多世代交流が実現できると思います。

○桑山委員

- ・サードプレイスという表現について、第3の場所という意味に加えて3世代が交流できるという意味も含ませれば、少しは身近に感じるのではないのでしょうか。

○中村豊子委員

- ・屋外スペースはどのように活用されていくのでしょうか。

○事務局：山本

- ・屋外スペースについては、具体的な検討には至っていませんが、これまでのご意見を踏まえ、色々な形で活用していただくことを考えています。

○小柳委員長

- ・「地域の元気をつなぐ サードプレイス」という聞き慣れない言葉ではありますが、基本的な内容について、問題がなければこれで進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

※委員一同、承認

○小柳委員長

- ・基本コンセプトについては、承認していただきましたので、続いて議題（２）施設の機能検討について、事務局より説明をお願いします。

【基本方針の検討】（２）施設機能の検討について

○事務局：山本

- ・それでは、資料３の施設機能の検討（３～４ページ）について、ご説明させていただきます。
- ・新たな老人福祉センターへ導入する施設機能については、コンベンションゾーン、アクティブゾーン、リラクゼーションゾーン、カルチャーゾーン、交流ゾーン、エントランスゾーン、管理ゾーン、オープンスペースの８つの機能を導入することを想定しています。
- ・各機能の概要について、４ページ目の資料に沿ってご説明いたします。コンベンションゾーンについては、発表会や展示会などイベント開催に対応できる機能を持ちます。このゾーンに集会室やステージを配置し、野口の郷でも好評をいただいている「芸能ショー」や「カラオケ」を楽しんでいただく他、老人クラブ等の利用者の方々が多く集まることができるようなゾーンとなります。先程、酒井委員のご発言にもありました、若い方々が発表するようなスペースも、ここで対応できるかと考えています。
- ・アクティブゾーンについては、運動や機能回復訓練により健康を増進する機能を持ちます。卓球やフィットネス、トレーニングができるスペースを確保し、またヘルストロン室を設けることで、利用者の方に体力づくりや運動を楽しんでいただけるようなゾーンとなります。前回の委員会において、稲垣委員からご発言がありました通り、多目的室において多くの健康教室を開催し、健康増進の強化を図っているとのことですので、新しい老人福祉センターにおいてもこれらの機能の充実を図りたいと考えております。
- ・リラクゼーションゾーンにつきましては、入浴や休憩など快適に過ごすことでリラックスできる機能を持ちます。施設利用者アンケートの結果からも、浴室は人気があり、老人福祉センターを整備する上でも重要なゾーンと考えています。
- ・カルチャーゾーンについては、各種講座や定期イベントなどにより教養を向上する機能を持ちます。作品制作等を行う創作室や囲碁や将棋を楽しむ娯楽室等を配置し、利用者の娯楽・教養・生きがいがづくりの場として利用していただくゾーンとなります。
- ・交流ゾーンについては、コミュニティや情報提供の場となり、交流を促進する機能を持ちます。図書や作品展示のコーナー、簡単な飲食ができる喫茶コーナーを設け、利用者の交流の場として利用していただくゾーンとなります。
- ・エントランスゾーンは、施設の入口として風除室や下駄箱を設けます。管理ゾーンでは、事務室や相談室等を設置し、管理機能や健康相談等を支援する機能を持ちます。
- ・オープンスペースについては、（仮称）小牧市第３老人福祉センターにおいて、特徴的なゾーンであります。地域に関係する機関と連携し、新たなプログラムを実施することで、多世代や地域とつながる機会の創出を図ります。

○事務局：山本

- ・続いて、施設機能のゾーニングについて、ご説明いたします。再度、資料３ページをご覧ください。
- ・３ページ右側に導入する施設機能をゾーンごとに配置したゾーニング図を示しています。日当

議事概要

たりの良い南側に、交流ゾーン、コンベンションゾーン、アクティブゾーンを配置し、利用者から人気の高いカラオケ等各種イベントや卓球、トレーニングを楽しむことができるようにします。そして、管理ゾーン、カルチャーゾーン、リラクゼーションゾーンについては、北側に配置します。また、オープンスペースについては、施設西側に配置し、多世代や地域の交流の場とします。

- ・最後に、施設機能のゾーンごと、諸室ごとの参考面積について、ご説明いたします。4ページをご覧ください。
- ・現在お示している数値に関しては、現段階での参考面積になりますので、決定事項ではありません。来年度以降に実施する基本設計や実施設計を進める中で、ここに記載の面積から増減があることをご承知いただければと思います。
- ・諸室面積は既存の第2老人福祉センターを参考に算出しており、その合計面積は約1,700㎡となっておりますが、廊下等の諸室以外の面積を含めると、延床面積は約2,000㎡となります。以上で、施設機能の検討に関する説明を終わります。

○小柳委員長

- ・ありがとうございました。事務局から、施設機能に関するご説明をいただきましたが、何かご質問やご意見のある方はいらっしゃいますか。

○小林委員

- ・施設機能については、基本的には今まで通りで良いと思います。ただ、具体的な広さのイメージが掴めませんので、実際にどの程度の広さになるか教えていただけますか。

○小柳委員長

- ・これまでの施設規模からどのように変化するのかなど、ご説明ください。

○事務局：山本

- ・参考面積としてご提示させていただいていますが、既存施設の機能に基づいて検討していますので、極端にこの部分を強化したというものはありません。
- ・今回から新たに、様々な用途で活用していただけるよう多目的室を設けていますが、それ以外には特に大きな変化はありません。

○今村委員

- ・先程のご意見同様、スペース的に掴めないものがあります。例えばコンベンションゾーンの控室について、着替えや待機場所として必要だという意見も出ていると思いますが、実際の収容人数はどの程度なのでしょう。
- ・また、音響関係の設備についてもどのようになるのでしょうか。せっかく多くの方に来ていただいても、設備が整っていなければ楽しめるものも楽しめなくなると思いますので、その辺りについて教えてください。

○事務局：山本

- ・参考面積については、あくまで既存施設を基に算定したものですので、今後詳細な検討を進める中で、改めて算定したいと考えています。今後は出来るだけ色々な諸室を活用しながら、使いやすい施設となるよう検討を進めていきたいと思っております。
- ・音響設備に関しては、今後詳細な検討を進めますが、基本的には既存施設と同程度の設備を導入する予定です。

○今村委員

- ・アクティブゾーンは、様々な運動系の催しがされるかと思いますが、これらに利用される

議事概要

部屋は、一つずつの部屋として仕切られるのか、それともパーティションなどにより間仕切りされるのでしょうか。

- ・コンベンションゾーンについては、更衣や待機がしやすい場所に配置して欲しいです。

○事務局：山本

- ・アクティブゾーンの各諸室の仕切りですが、利用の仕方に合わせて諸室を仕切っていきたいと考えております。
- ・更衣、待機スペースに関しては、今後、詳細に検討をしていきたいと考えています。

○松岡委員

- ・今回の施設面積が約1,700㎡となっており、大きいのかなという印象です。例えば、人口規模から見てこの規模が適当なのか。また、場合によっては、もう少し施設面積を増やすことも可能なのか、いかがでしょうか。

○事務局：山本

- ・施設面積が約2,000㎡ということについては、既存施設の規模を踏まえて、これまで検討を進めてきた結果からご提示させていただいています。ただし、詳細な設計を進めていく中で、どうしてもこの規模では収まりきらない部分もあるかもしれませんので、まずは、既存施設と同規模面積を整備するという事で進めさせていただいています。

○桑山委員

- ・先程、畳の部屋についてご意見があったかと思いますが、私も畳よりは椅子を設けた方がよいのではないかと思います。今後、車いすで利用される方もいらっしゃるかと思いますので、フローリングの方が何かと便利ではないでしょうか。一点、確認ですが、今の施設は全てバリアフリー対応になっているのでしょうか。

○事務局：山本

- ・改築した野口の郷については、構造上2階建ということもありますが、基本的には同じフロアの中では極力段差を少なくし、車いすの方に配慮した設計となっております。今回整備する施設につきましては、平屋造りとなりますので、段差が少なく利用しやすい構造を踏まえて設計していきたいと考えております。

○中村豊子委員

- ・先程の畳の部屋に関連して、野口の郷の方は教養娯楽室が畳とテーブルセットの和洋折衷となっておりますが、畳の方が好みだという利用者もいらっしゃると思いますので、新しく整備する施設も同じような構造が良いのではないかと思います。
- ・オープンスペースについて、もし可能ならばテラス喫茶や四季折々の展示などがされると良いと思いました。

○酒井委員

- ・施設の外周は、塀か何かで仕切られるのでしょうか。施設の周辺に花や緑があると良いかなと思いますが、樹木などで周囲を囲うという予定はありますか。

○事務局：山本

- ・施設東側を緑道というようにしておりますので、その辺りで植栽等による仕切りはできる

議事概要

かと思いますが、詳細については、今後検討していきたいと思います。

○児玉委員

- ・駐車場が整備されると思いますが、何台くらいを想定していますか。それと駅前に駐車場が整備されるため、施設利用者以外が勝手に停めていく可能性もあるかと思いますが、管理については、どうでしょうか。

○事務局：山本

- ・想定している台数は、100台程度を考えておりますが、今後の地権者の方との交渉によっては、敷地条件が変わるため、台数も変更する可能性はあります。
- ・駐車場の管理については、ご指摘の通り、施設利用者以外の方が駐車される心配もありますので、今後対応策を検討していきたいと考えています。

○中村昭典委員

- ・交流ゾーンとコンベンションゾーンについては、壁で仕切られる予定ですか。
- ・機能によって、諸室を全て分けてしまうと、催しの内容によってはスペースが足りないなどの課題も出てくるかと思えます。アクティブゾーンやリラクゼーションゾーンについては利用目的も明確になっており、そのための設備が必要となることから、部屋ごとの区切りが必要になると思いますが、交流、コンベンション、カルチャーゾーン等については、催しによっては可変的にスペースを組み替えられるとよいのではないかと思います。
- ・オープンスペースについては、屋外を想定されていますか。

○事務局：山本

- ・コンベンションゾーンについては、音が出るスペースになりますので、完全なオープンの空間にはできないため、何かしらの仕切りを設けるような想定をしています。
- ・オープンスペースに関しては、大型バス利用者がこの場所から施設にお越しになるため、悪天候時を想定して屋根が付く可能性もあります。現段階ではそこまで検討はしていませんが、そういった対応も必要になるかと思えます。

○中村昭典委員

- ・屋根が設置されなければ、使えるようで使えないスペースになってしまうと感じました。
- ・私が提案した多世代との交流という視点で意見させていただくと、現在の計画は既存施設をベースに検討されていますので、実際に提案した内容がスペース的に実現できるのか少し疑問に思いました。仮に、提案させていただいた内容から、面白そうだからやってみようと思う項目が出てきた場合には、どのスペースを活用して実施するかなどの検討を加えていただけるとありがたいです。

○稲垣委員

- ・敷地条件上、建物が東西に長い長方形になっておりますので、可能ならば、事務所や管理室から施設全体が見通せるような構造が理想的だと思いました。
- ・もう一点、高齢者の方が大勢で訪れた時に、入口付近で滞留しないような構造が望ましいと思いました。利用者の中には足の不自由な方もいらっしゃいますので、入口がすぐに集会室に入ることができるような構造だとありがたいです。また、浴室についても、事故が発生する可能性が高い場所ですので、すぐに対応できるような配置にさせていただけると良いと思いました。

議事概要

- ・先程もご意見がありましたが、集会室などの音が出る部屋と静かに利用される部屋は分けた方が良くと思います。

○小柳委員長

- ・施設管理の面からご意見をいただきましたので、検討する際には配慮していただければと思います。
- ・先日、改築された野口の郷を見学させていただきました。その中で特に気になったのは喫茶室の利用方法についてですが、今回から施設利用者だけでなく、地域の方にも利用していただけるようにしているとのことでしたが、施設利用者はスリッパを利用するのに対し、外から利用する方は土足のまま利用するということになっているようです。もし雨の時に土足のまま利用されたら、床が濡れてしまうため、安全面、維持管理面から大変だと思います。その辺りについて、もう一度再考された方が良くと思いました。
- ・他にご意見がなければ、これで議事を終了させていただきたいと思います。

3 その他

○小柳委員長

- ・続きまして、次第3のその他に移りたいと思います。事務局より、説明をお願いします。

○事務局：白木

- ・それでは事務局より、今後の委員会の予定を改めてご報告させていただきます。第3回建設検討委員会につきましては、平成30年12月18日（火）午前10時を予定しております。会場につきましては、本日と同様に本庁舎4階404会議室となります。
- ・次回につきましては、年明けに予定をしているパブリックコメントを見据え、基本構想・基本計画の素案に対して議論していただくことを予定しています。委員の皆様には、事前に次回委員会の資料を送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。詳細については、改めて通知させていただきたいと思います。
- ・第4回建設検討委員会につきましては、平成31年3月頃を予定しております。こちらにつきましては、現段階で日程が決まっておりませんので、決まり次第改めて、ご連絡させていただきます。
- ・以上で事務局からの報告を終わります。

○小柳委員長

- ・ありがとうございました。事務局より、次回の日程と議題についてご報告いただきました。今回はパブリックコメントに向けた計画書の議論となります。今回同様、委員の皆様全員にご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
- ・それでは、これをもちまして第2回（仮称）小牧市第3老人福祉センター建設検討委員会を閉会いたします。皆様、ご協力いただきまして、ありがとうございます。

以 上